

インフォメーション

newsletters = No. 32

1979年3月

目次

	頁
1. “学会会長に選ばれて” 岡田節人会長	1
2. 第12回大会案内（最終）	3
3. 第20回運営委員会報告	6
4. 団仁子先生記念論文の寄稿について	7
5. 三菱財団自然科学研究助成応募要項について	8
6. 会員移動	10

日本発生生物学会

東京都町田市南大谷11号(〒194)
三菱化成生命科学研究所発生生物学研究室内

事務局よりのおねがい

1. 会費納入のお願い

学会の会計が諸物価の値上り、会費滞納などのため大変苦しくなっています。会費の納入に御協力下さい。会費は同封赤色振替用紙にてお払い込み下さい。念のため、年間会費は6,000円です。

加入者名 日本発生生物学会 口座番号 東京0-81651

2. 現在DGDの基金を募集中です(サーキュラーNo.22 参照)

1 口 1,000円(1人何口でも可)

払込先 郵便振替 東京0-81651 日本発生生物学会
(振替用紙の裏面に„DGD基金”と記入して下さい)

3. サーキュラーへの投稿おねがい

学会員相互の交流のためいろいろな話題をおよせ下さい。学問上のこと(たとえば、意見の交流を求める話題の提供、トピックスの紹介、国際会議の様子、など)、研究室の紹介、学会への意見などいろいろあると思います。ふるって投稿して下さい。

なお、原稿は事務局庶務幹事あて、お送り下されば、幸いです。

賛 助 会 員

和 研 薬 株 式 会 社

京都市左京区北白川西伊織町25

電話 京都 (075) 721-0491 (代)

賛 助 会 員

日 製 産 業 株 式 会 社

〒453 名古屋市中村区名駅4丁目6-18

(名古屋ビル内)

賛 助 会 員

三 菱 化 成 生 命 科 学 研 究 所

〒194 東京都町田市南大谷11号

1. 学会会長に選ばれて

今回の選挙の結果、思いがけなくも当学会の会長に就任することになりました。過去10年余にわたり円熟した先生方の会長の許にあって、本学会は着々と成長してきました。今回、私のような若輩が選出されることになりましたのは、私自身にはじつに予想だにもしなかったところであり、しかし、会員の多くの方々から信任を得ましたことは、何にもかえ難い名誉なことであり、力をつくしたいと思います。

前回会長の団先生、前々会長の楢山先生から私へと引つがれましたことは、それなりに一つの世代の交代期を象徴しているものであり、それが学会の成長の必然でもあるならば、その意味は十分に了解して会長としての任を果したい所存です。

本学会は成立以来、すでに10年を過ぎました。昨年は会則によって10年間の反省を行なう時期に当っており、前会長の委託によって江口吾朗博士が勢力的に会員の意見を集められ、本年度の第一回の運営委員会へ詳細な報告をされました。それらの諸意見はすべて今後の学会の運営に当って誠に貴重、有益なものであります。しかし、直ちに実行可能なものと、差当ってはなお将来の目標として留意したいものがあるようであります。これらの具体的な事項、実行に移すべき項目と実施案については、サーキュラー次号、および本年度大会において報告します。

学会という組織は、必ずしも大きければ大きい程、その意義を果している、というようなものでもありません。本学会についていえば、近い将来にその規模を現在の2倍にも3倍にも大きくすることを特に目標としてかかげる必要はないと思います。しかしながら、発生生物学のカバーする研究領域についての世界的状況—そのすさまじい伸び—をみれば、本学会としてもいまま一歩、学際性と国際性を広めるべきではないかと私考します。この方向への発展について、広報活動その他による努力をしたいと考えておりますが、会員諸氏にも、しかるべき方々へ（日本人・外国人）本学会を紹介されて、会員として加わって頂くよう、或は、DGDへの寄稿を示唆して頂くなど、機会があれば留意下されば幸いです。

学会の活動は、要は各会員の研究活動に負うておるのでありますから、本学会が過去、学問的に常に一定の水準を維持することに成功しており、その事実は国際的にも一応の（残念ながら充分にはいえなくも）定着した評価を得てきたことは、じつに喜ばしいことでもあります。そして、換言すれば、会員の多くの方々、「出席した値打ちがあった」と感じて頂ける大会が開催でき、多くの方々、「投稿してよかった」と思って頂ける雑誌を発刊していくことこそが学会の目標でありましょう。そのためにも、今一歩の学際性と国際性の獲得への努力を試みたいと思います。

本学会は、学会の運営、学会行事への発言と参加といった面について会員諸氏の関心が、他学会に比べてぬきんでて高いのではないかと、という印象をかねがね私は受けてきました。運営委員

会の議事なども異例な程に活発な学会であります。会長としては、これ程心強いことはないと思っております。今後共、会員諸氏の本学会の運営、将来について随時遠慮のない意見、叱責を寄せて頂くようお願いします。

日本発生生物学学会会長

岡田 節 人

2. 日本発生生物学 第12回大会案内 (最終)

1. 期 日 1979年(昭54) 6月27日(水)・28日(木)・29(金)

2. 会 場 札幌市教育文化会館(札幌市中央区北1西13)

3. 日 程

(前日〔6月26日(火)〕夕刻から運営委員会)

第1日 6月27日(水) 午前:一般講演 午後:一般講演・ワークショップ

第2日 6月28日(水) 午前:一般講演 午後:一般講演・懇親会

第3日 6月29日(金) 午前:一般講演 午後:一般講演・特別講演・総会

4. 参加・一般講演の申し込み

同封の申込用紙で、4月23日(月)までに。

(一般講演は昭和54年度までの会費納入者に限ります。)

5. 参加費

(i) 大会参加費 ¥3,000(学生・院生¥2,000) 同封の郵便振替用紙で。振替受領票をもって領収書にかえさせていただきます。

(ii) 懇親会費 ¥3,000見当(当日会場で)

6. 講演要旨

同封の用紙で、4月23日(月)までに。

(i) 原稿はそのまま写植印刷しますから、黒インクまたは黒ボールペンで明瞭に書き、2つ折りにしてお送り下さい。

(ii) 図表なども印刷できます(近年の講演要旨集をご参照下さい)。

7. ワークショップ

I 先体反応 オーガナイザー:星 元紀(北大・低温研・生化)

1. 精子先体構造の分化と変異:久保美代子(愛媛大・理・生)

2. 先体反応を誘起する物質:筏井洋之(北大・低温研・生化)

3. 卵膜ライシン:灰野 和(都立大・理・生)

4. 生物学的意義の検討:緋田研爾(名大・理・生)

II 胚の部域性と遺伝子発現 オーガナイザー:塩川光一郎(九大・理・生)

1. カエルの生殖質と紫外線照射:井尻憲一(東大・理・動)

2. ホヤ胚の部域性と遺伝子発現:佐藤矩行(京大・理・動)

3. ヒトデ分離割球の発生分化能:団まりな(大阪市大・理・生)

4. ツメガエル分離割球における rRNA合成:塩川光一郎(九大・理・生)

5. 鶏胚ウロコ皮膚発生にみる地域性：田中省二（三菱生命研・発生生物）
6. カイコの異なる組織におけるフィブロイン遺伝子発現：鈴木義昭（基生研・細胞分化）
7. ゾウリムシの未熟物質による性的成熟の調節：樋渡宏一（東北大・理・生）

8. 微生物，植物，動物における発生生物学の問題点（計画中）。

諸生物における基本的共通点・特異点・接点などについて，会期中に適当な時間を割いて討論集会を行いたい：「発生生物学会10年の反省」にも関連するでしょう。計画世話人：原田市太郎（北大・理・植）

9. 特別講演

フィブロイン遺伝子の選択的発現の機構について：鈴木義昭（基生研）

10. 総会

通例の議事のほかに，「日本発生生物学会10年の反省」という重要問題が昨年を引きつづいて討議される予定。

11. 懇親会

ジンギスカン料理，サッポロ生ビール，その他で。会費，会場などの詳細は追ってお知らせいたします。

12. 観光

6月下旬から7月上旬は，北海道の最もよい季節です。大会準備委員会は観光・見学の団体お世話はいたしません。各自，下記のところへお問い合わせ下さい。

日本交通公社札幌支店 060 札幌市中央区北3西4（日本生命ビル内）TEL011(241)6201

札幌ツーリスト 001 札幌市北区北9西4（エルムビル内）TEL011(742)3151

札幌市交通局定期観光乗車券発売所 060 札幌市中央区北5西4（札幌駅前ターミナル地下1階）TEL011(213)2743

13. 宿所

準備委員会ではお世話いたしません。共済組合関係の宿所は下記のようにです。

〔国共連〕

石狩会館 060 札幌市北4西5 TEL011(231)6711

清楓荘 060 札幌市中央区北6西17 TEL011(631)2266

（青らん荘 061-23 札幌市南区定山溪温泉西3-75 TEL011(365)2101）

〔公立学共〕

ホテルアカシア 064 札幌市中央区南12西1 TEL011(521)5211

（溪泉閣 061-23 札幌市南区定山溪温泉東3 TEL011(365)2454）

〔私学共〕

北海道会館 060 札幌市中央区北1西6 TEL011(261)5311

[地方共]

北海道庁共済会館 060 札幌市中央区北3西18 TEL011 (621) 0216

札幌市自治会館 060 札幌市中央区北4西6 TEL011 (241) 9111

都市会館 064 札幌市中央区南4西13 TEL011 (561) 6291

(溪流荘 061-23 札幌市南区定山溪温泉東4-331 TEL011 (365) 2308)

(溪流荘 061-23 札幌市南区定山溪温泉西2-5 TEL011 (365) 2721)

(ホテル新定山溪 061-23 札幌市南区定山溪温泉東3-192 TEL011 (365) 2671)

[その他]

総 理 府：円山荘 060 札幌市中央区北3西24 TEL011 (631) 6902

林 野 庁：グリーン札幌 060 札幌市中央区北1西11 TEL011 (241) 8762

国 鉄：あかしや荘 060 札幌市中央区北3西12 TEL011 (221) 6948

防 衛 庁：札幌クラブ 064 札幌市中央区南28西9 TEL011 (531) 1517

警 察 庁：エルム会館 060 札幌市中央区北1西7 TEL011 (231) 1361

(溪流荘：061-23 札幌市南区定山溪温泉西3 TEL011 (365) 2562)

郵 政 省：(太虚荘 061-23 札幌市南区定山溪温泉西1-10 TEL011 (365) 2208)

農林漁団共：(北泉閣 061-23 札幌市南区定山溪温泉西2-15 TEL011 (365) 2336)

() は札幌市内の温泉街：会場まで市バスで1時間半。

14. 5月末までにプログラムと講演予稿集をお届け申す予定。

以 上

1979・3月

060 札幌市北区北10西8

北海道大学理学部植物学教室内

日本発生生物学会第12回大会準備委員会

(郵便振替口座 小樽4058)

(代表者) 原 田 市太郎

3. 第20回運営委員会報告

第20回運営委員会が1月12日三菱化成初台寮で行われた。

出席者：岡田節人（会長）、天野 実、岡崎嘉代、片桐千明、加藤淑裕、金谷晴夫、黒田行昭、
塩川光一郎、樋渡宏一、毛利秀雄、米田満樹（以上運営委員）、団 勝磨（前会長）、江口
吾朗（前運営委員）、山崎君江、田中省二（事務局）

議事、報告は下記の通り。

- 53年度決算及び54年度暫定予算について別表の通り承認されました。53年度会計監査は茅野春雄（北大・低温研）、八杉貞雄（東大・動物）の両氏にお願いすることになりました。
- 10年目の反省について
江口吾朗氏の報告を元に、実行可能な具体案（運営委員の在り方、大会以外の活動など）について討議された。
- DGD編集局より
団ジーン先生記念論文をDGDに掲載する計画が承認された（詳細は当サーキュラ、別項(4)に掲載）。国際発生生物学学会（ISDB）の会員はDGDの個別会員（会費年8千円）になることが出来る旨承認された。
- 第12回大会開催について
片桐委員より報告がなされた。詳細は当サーキュラ別項(2)に掲載。
- 其他 第13回大会開催、次期事務局選出等について討議された。

昭和53年度 決算報告

(53.12.31)

収	入	支	出
	円		円
前年度繰越金	3,297,857	編集局経費	2,444,909
学会費	3,054,900	DGD印刷費	5,118,050
DGD売上げ	3,272,230	(内訳 Vol. 19 No. 4	1,083,600)
広告代	146,000	Vol. 20 No. 1~4	4,034,450)
単行本売上げ	1,490,330	事務局経費	808,850
文部省助成金	1,930,000	第11回大会講演要旨集印刷費	486,700
DGD充実のための基金	26,000	サーキュラー印刷費	120,000
賛助会費	100,000	運営委員会経費	128,770
第10回大会よりの寄付金	150,000	第12回大会援助費	70,000
講演要旨管名簿売上げ代金	4,340	単行本諸経費（変態の生物学）	758,210
銀行利息	38,003	供 花	12,000
京都大学編集局より移管	1,588	選挙のための費用	112,300
		名簿印刷費	100,000
		銀行手数料	3,850
		郵便手数料	38,020
		次年度繰越金	3,309,589
計	13,511,248		13,511,248

昭和54年度暫定予算

(54. 1.12)

収	入	支	出
前年度繰越金	3,309,589	編集局経費	2,720,000
学会費	3,200,000	DGD印刷製本費	5,600,000
DGD売上げ	3,000,000	事務局経費	1,000,000
広告代	150,000	第12回大会講演要旨集	500,000
単行本売上げ	1,500,000	サーキュラ印刷費	150,000
文部省助成金	1,930,000	運営委員会経費	300,000
DGD充実のための基金	50,000	第13回大会援助金	200,000
賛助会費	150,000	単行本諸経費	800,000
銀行利息	40,000	郵便振替手数料	40,000
		銀行手数料	5,000
		予備費	100,000
		DGD充実のための基金	1,914,589
計	13,329,589		13,329,589

4. 団 仁子先生記念論文の寄稿について

日本発生生物学会の発足以来DGDの編集委員をつとめられた団仁子先生が、昨年11月に急逝されました。先生は精子の先体反応を始め、動物の受精に関する数々の業績をもって学会に貢献された一方、DGDに登載される論文の英文校閲の仕事を、これまで殆ど一手に引きうけてこられ、同誌の発展に多大の寄与をされました。ついてはこの際DGDの一つの号に、先生に dedicate する論文を集めて掲載し、これをもって先生を偲ぶことにしてはどうかという考えを、DGC編集委員会、運営委員会に有志より提唱しましたところ賛成をえました。つきましては次のような形で実行に移したいと思えます。会員の皆様の御協力をお願い申し上げます。

要 項

- ① 記念論文として寄稿される方は論文第1頁にその旨を記すこと。
- ② 特集号を別に発行するのでなく、Vol. 22, No. 3 (1980年6月発行) をこのためにあてる。論文の受付は1979年11月末までとする。(なお本年より年6回の発行となるので、記念号発行による一般論文の発刊のおくれがあったとしても僅かであることが、DGD編集委員会から保証されています)
- ③ 掲載までの手続きは記念論文である理由で特別扱いはしない。
- ④ 記念論文の印刷費の半額は著者負担とする。
- ⑤ 記念号に団仁子先生を記念する2ページ程の記事を適当な方に執筆依頼して掲載する。

発起人

石原 勝敏 (埼玉大理)	江口 吾朗 (名大理)	遠藤 善之 (慶応大)
岡崎 嘉代 (東京都立大理)	岡田 節人 (京大理)	片桐 千明 (北大理)
加藤 淑裕 (三菱生命研)	金谷 晴夫 (基生研)	酒井 彦一 (東大理)
梶山 正雄 (梶山女学園大)	三木 堆子 (お茶大理)	毛利 秀雄 (東大教養)
安増 郁夫 (早大教育)	柳町 隆造 (ハワイ大医)	米田 満樹 (京大理)

5. 三菱財団自然科学研究助成応募要項について

昭和54年度の応募要項(抜萃)をお知らせします。

第10回 (昭和54年度)

三菱財団自然科学研究助成応募要項

1. 助成の趣旨

自然科学の基礎分野における重要かつ独創的な研究を助成して、わが国基礎科学部門の一層の向上、発展を期待するものであります。

本年度は下記の分野を重点的に助成の対象とすることにいたします。しかし、その他の分野における研究も、勿論選考の対象から除外するものではありません。また、この助成金は研究達成のためにもっとも有効に使用されるようにいたしたいので、その用途はとくに制限いたしません。

2. 重点対象分野

- (1) 非線型現象の基礎的研究
- (2) 固体表面など特殊条件下での新しい物質現象の研究
- (3) バイオ・サイバネティクスの基礎的研究
- (4) 化学および物性分野における新しい着想、新測定方法による研究
- (5) 破壊の機構に関する研究
- (6) 新材料の開発または既存の物質の新しい物性の基礎研究
- (7) 発生および分化に関する基礎的研究
- (8) 生物現象に直接関係する新しい有機化合物の研究
- (9) 遺伝と環境の相互作用による疾患に関する基礎的研究
- (10) 臓器の機能的構築に関する基礎的研究

3. 助成の金額と期間

イ、金額

総額 約2億円 1件2千万円以内（本年度は20件程度を目標とします）

今回は当財団設立10周年に当たりますので、本年度に限り助成金額を約2倍に増額いたしました。

ロ、期間

1年を原則とします。研究計画の都合上継続を必要とする場合は、毎年提出された申込書にもとづき選考いたします。

4. 応募方法

当財団所定の申込書に必要事項をご記入のうえ、正1通、副1通（コピー）を当財団宛ご送付願います。申込書用紙はご請求あり次第お送りいたします。

5. 応募締切日

昭和54年5月19日（土）必着

6. 選考方法

下記委員からなる選考委員会において選考のうえ、9月中旬開催の当財団理事会で決定します。

藤井隆（委員長）	長倉三郎
飯島宗一	南雲仁一
江上信雄	橋口隆吉
柴田承二	山本正
高木佐知夫	（敬称略）

7. 助成金の贈呈

昭和54年10月19日（金）

8. 申込書送付先

財団法人 三菱財団

〒100 東京都千代田区丸の内2丁目5番2号（三菱ビルヂング15階）

電話 東京（03）214局5754番

[参考資料]

重点対象分野内容解説

発生および分化に関する基礎的研究

一個の細胞である卵から複雑な構造をもつ個体が発生してくる機構についての研究は、現代生物学において、一つの重要な主題となっている。初期発生における細胞群の造形運動の解析は、細胞の運動性、細胞表面の性質など生理学や生物物理学の研究につながり、それにつづく細胞分化の研究は、蛋白質その他物質の細胞内合成の制御機構の問題となり、分子生物学と結びつく。このような広汎な見地から、発生・分化に関する基礎的研究が推進されることを期待する。

6. 会 員 異 動

<新人会員>

角 谷 まゆみ	上智大, 生命科学研	①器官形成, 器官培養, 組織間相互作用 ②ウンガエルのオタマジャクシ Chick
唐 沢 健一郎	名古屋大, 理, 化学, 生化研	①軟骨分化 ②Chick, limb buds
小 田 隆 治	筑波大, 下田臨海実	①無性生殖と再生 ② <i>Polyandrocarpa misakiensis</i>
川 村 和 夫	筑波大, 下田臨海実	①ホヤ Pallial bud の発達, 特に芽体形態形成の 際の親ののパターン情報の芽体への伝達 ② <i>Botryllos primigenus</i> <i>Symplegma reptans</i> <i>Polyandrocarpa misakiensis</i> <i>Metandrocarpa uedai</i>
小 山 洋 道	筑波大, 下田臨海実	① <i>Perophora</i> における群体特異性の発現について ② <i>Perophora tormosand</i> <i>Perophord sagamiensis</i> <i>Perophora japonica</i> など
杉 本 正 信	国立予防衛生研, 病理	①胸腺の発生分化 ②鶏胚胸腺
増 井 徹	東大, 大学院, 理学 系, 動物	①卵黄囊内胚葉の発生 ②ニワトリ, ウズラ
萩 原 康 子	国立神経センター, 機 能研	①細胞培養 ②骨格筋
平 野 茂 樹	山形大, 医, 解	①神経堤の発生 ②トウホクサンシヨウウオ, アフリカツメガエル
白 井 敏 雄	山形大, 医, 解	①神経系の発生 ②ラット
小 栗 佳代子	国立名古屋病院血液病 センター	①間質物質と形態形成

②ニワトリ胚

岡山 実

国立名古屋病院血液
病センター

①細胞表層物質と分化

②フレンド白血病細胞, 軟骨細胞

<退会会員>

京野 洋子

産業医学総合研

清水 宏治

愛知県コロニー発達障害研

松本 博

西京商業高校

川合 進二郎

京大, 理, 植

岩崎 進一

富山化学工業, 総合研

浅田 真理

関西医科大, 一解

中西 真人

大阪大, 微生物病研

入江 勇治

筑波大, 基礎医学系

高田 健三

名大, 理

中村 和成

島根医科大

三宅 康子

大阪大, 微研

安田 国雄

京大, 理, 生物

北野 日出男

京大, 理, 動物

団 ジーン

(自) 東京都世田谷区上用賀3-19-8 フランシスコ・ウイルス338 (逝去)

朝山 新一

(自) 大津市比叡平2-3-22

(ク)

<新賛助会員>

合資会社木下理化工器製作所

〒460 名古屋市中区千代田5-22-11

株式会社商新名古屋営業所

〒462 名古屋市北区撞旗町1-6 志賀コーポ106

ヤマト科学株式会社名古屋営業所

〒456 名古屋市熱田区波寄町48

株式会社小沢製作所豊田営業所

〒471 豊田市広久手町5-27-4

株式会社栄屋理化岡崎営業所

〒444 岡崎市大西町橋南ヶ原12-219

アロカ株式会社

〒181 東京都三鷹市牟礼6丁目22番1号

賛助会員

合資会社 木下理化器製作所

〒460 名古屋市中区千代田5-22-11

賛助会員

株式会社 商新名古屋営業所

〒462 名古屋市北区憧幡町1-6 志賀コーポ101

賛助会員

ヤマト科学株式会社名古屋営業所

〒456 名古屋市熱田区波寄町48

賛助会員

株式会社 小澤製作所豊田営業所

〒471 豊田市広久町5-27-4

賛助会員

株式会社 栄屋理化岡崎営業所

〒444 岡崎市大西町字南ヶ原12-219

賛助会員

アロカ株式会社

〒181 東京都三鷹市牟礼6丁目22番1号

SIGMA
PRICE LIST
APRIL 1977

**BIOCHEMICAL AND
ORGANIC COMPOUNDS**

for Research
and **DIAGNOSTIC
CLINICAL REAGENTS**

**IT'S
EASY TO
ORDER
from
SIGMA**

Telephone COLLECT
(Charges Reversed)
from Anywhere in the World
8 A.M. to 7 P.M. - Monday thru Friday
& 9 A.M. to 5 P.M. - Saturday, Sunday and Holiday

314-771-5750

TO PLACE AN ORDER
Tell your operator that you want to place a collect call "to anyone" at [phone number].
Since this is our Order department, you will reduce our costs a bit if you don't ask for the "Order Department" or any certain individual. However, it is a good idea to get the name of the person you talk to in case a problem develops later.

TO CALL OUR CUSTOMER SERVICE DEPT. **314-771-5765**
To discuss a shipping or technical problem, or for any reason, please call.
Monday thru Friday

If you have any trouble getting really excellent service at the above numbers, please phone me (Dan Brocks) personally... Person-to-Person collect! at 314-632-8418.

SIGMA シグマ製品がブームと お求めやすくなりました!

日本特殊薬品では、アメリカ・シグマ社と代理店
契約を結び、シグマ社最新カタログの全製品を、
下記の要領で簡単にお求めいただけます。

- シグマ社の製品一切は、ご使用者への直結販売にかぎります。
- 遠隔地への送品には、荷造り・送料を実費申し受けます。少量の場合には、代金引換えにてお願いすることがあります。
- 汎用品はできるだけ常備していますが、品切れ、その他の場合は約1カ月のうちに取りよめます。(船便のときは約2カ月後)

お問い合わせは下記へ

《シグマ社受権代理店》

日本特殊薬品株式会社

大阪市西区京町堀1丁目8番22号 (〒550) ☎06(448)2261(代表)
私書箱番号 (〒530-91) 大阪中央局第755号

Call me anytime... day or night, Sundays or Holidays. I am usually (but not always) available. If you don't reach me, please try again later.

TELETYPE — TWX Telex **910-761-0593**
We have a TWX machine and our number is [number].
If you have a TWX machine you may dial us directly.
If you have a Telex machine, contact your teletype representative for instructions. Don't try to dial our TWX number on a regular telephone — it won't work. You must have a teletype machine.

To call us "collect" on either a TWX or Telex machine, contact your teletype representative for instructions.

Although we accept "collect" teletype messages, they are allowed by only a few countries. Check with your teletype representative for details. If you cannot send your message "collect" we will be happy to reimburse the cost if you send us a copy of the message and the charges.

Our answer back code is "SIG ON Collect". Although you may send messages to us at night, we cannot reply immediately. Our machine is unattended Monday through Friday between 7:00 and 9:00, and all day Saturday and Sunday.

PLEASE HELP US TO HELP YOU

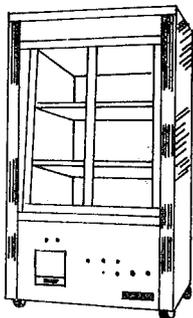
If at all possible, don't send us a CONFIRMING PURCHASE ORDER at all. It serves no useful purpose after your phone order is shipped, and might result in a duplicate shipment which is NOT returnable. We do not re-sell returned reagents.

If a purchase order MUST be sent anyway, be sure it is clearly marked "CONFIRMATION, DO NOT DUB LICHT"

SIGMA
CHEMICAL COMPANY

NK式生物研究用機器

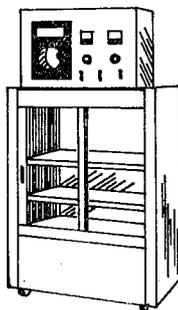
NK式電気低温恒温器(送風循環型) 高精度普及型



型式	L P-100 -S型	L P-150 -S型	L P-200 -S型
仕様			
内法 間口×奥行 ×高さ%	460×380 ×490	560×380 ×670	660×410 ×670
温度 範囲	+5℃ ~45℃	+5℃ ~45℃	+5℃ ~45℃
価格	24万円	27.5万円	30万円

※その他のいろいろなタイプがあります。

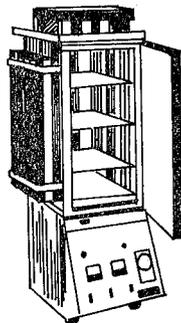
NK式プログラム電気低温恒温器(送風循環型) 四季の温度がプログラムで自在に再現できます!



型式	L P-100 -3 P	L P-150 -3 P	L P-200 -3 P
仕様			
内法 間口×奥行 ×高さ%	460×880 ×480	560×380 ×670	660×410 ×670
温度 範囲	+5℃ ~45℃	+5℃ ~45℃	+5℃ ~45℃
価格	43万円	45万円	48万円

NK式人工気象器

植物の育成、小動物(昆虫)飼育の本格派!

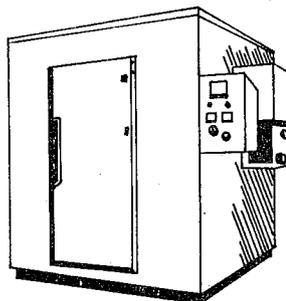


型式	L H-100 -R型	L PH-100 -RD型	L H-100 -RDP型
仕様			
内法 間口×奥行 ×高さ%	360×350 ×680	360×350 ×680	360×350 ×680
温度 範囲	+5℃ ~45℃	+10℃ ~45℃	+5℃ ~45℃
価格	温度のみ 43万円	温・湿 度付 65万円	プログラ ム付 55万円

※その他のいろいろなタイプがあります。

NK式プレハブ電気低温恒温槽

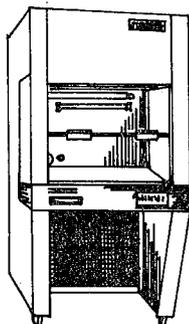
組立、移設、増設が思いのまま!



精密型

- LH型+5℃~45℃
価格1坪1,080,000円
より各種
 - LP型+18℃~45℃
価格1坪1,170,000円
より各種
- ※詳細はプレハブシリー
ズカタログをご請求下
さい。

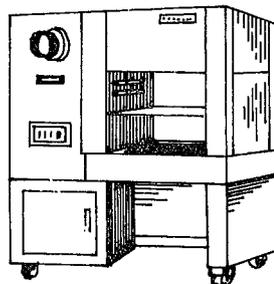
NK式クリーンベンチ(垂直層流型)



NKB-VS-850
¥750,000
NKB-VS-1300
¥850,000

NK式クリーンベンチ(垂直層流両面型)

無菌作業の能率アップに!



NKB-VW-850
¥1,000,000
NKB-VW-1300
¥1,300,000



株式会社 日本医化器械製作所

本 社 〒550 大阪市西区江戸堀北通1丁目25番地
東京営業所 〒183 東京都府中市清水ヶ丘1の3小林ビル
工 場 〒577 東大阪市新家東町54番地

電話 大阪06 (443)0712(代)
電話 府中0423 (65) 3245
電話 大阪06 (788) 1383~4